

様式2【後期】

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス

小学校 生活科 教科指導研修

※ 愛知教育大学への交通手段については、後日送付する通知文を参照すること。

1 研修日程

(研修者：小学校35人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場
第1日 8月7日 (木)	9:00~ 9:30	受付<愛知教育大学 第1共通棟107号室>	愛知教育大学 第1共通棟 107号室
	9:30~ 9:40	オリエンテーション	
	9:40~12:30	【演習：1学期の実践報告と課題意識の共有】 【講義：生活科における主体的・対話的で深い学び】 講師 大学教授	
	12:30~13:30	休憩	第1共通棟 107号室
	13:30~16:10	【講義：生活科の本質と独自性】 【演習：実践記録から学ぶ生活科の授業】 講師 大学教授	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡	
第2日 8月21日 (木) 前・後期合同	9:00~ 9:30	受付<愛知教育大学 教育未来館3階多目的ホール>	愛知教育大学 教育未来館 多目的ホール
	9:30~ 9:40	オリエンテーション	
	9:40~12:00	【講義：生活科教育の在り方】 【講義：単元構想と学習指導案の作成・授業づくりと評価の視点】 講師 大学教授	
	12:00~13:00	休憩	教育未来館 多目的ホール
	13:00~14:00	【協議：生活科指導で悩むこと】 講師 大学教授	
	14:00~16:10	【協議・演習：2学期の授業案の検討】 講師 大学教授	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡	

2 連絡事項（課題等）

連絡事項 (課題等)	第1日	【持ち物について】【課題及び提出について】 なし
	第2日	【持ち物について】 ・課題60部（受講者数55部（前期20人+後期35人）+5部） ・各学校の年間指導計画を60部（受講者数55部（前期20人+後期35人）+5部） 【課題及び提出について】 ・課題 2学期実施予定の一単元分の単元計画 ・課題様式 「3 課題様式」参照 ・提出方法 当日持参（事前提出なし）

3 課題様式（記入例）

令和7年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 小学校生活科

受講番号																		
内 容	2学期実施予定の一単元分の単元計画																	
1 単元名 「つかもうぜ！どろゴンボール」 2 単元目標 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（知識及び技能） ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（思考力、判断力、表現力等） ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（学びに向かう力、人間性等） 3 指導計画（○時間） <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間数</th> <th>活動内容</th> <th>指導のポイント、留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>砂場で遊ぶ。</td> <td>安全面・衛生面に配慮する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>砂場で道具（カップや水など）を使って遊ぶ。</td> <td>いろいろな種類の道具を準備する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>光るどろだんごを紹介し、自分で作ってみる。</td> <td>児童の興味・関心を引き出すどろだんごを用意する。</td> </tr> <tr> <td>4～7</td> <td>①材料や作り方を追究する。 ②級友と相談して、いろいろな種類のどろだんごを作る。</td> <td>何度も試したり、①と②を繰り返したりする十分な時間を確保する。</td> </tr> </tbody> </table> 章立ては、自由。 必要に応じて変更してよい。				時間数	活動内容	指導のポイント、留意点	1	砂場で遊ぶ。	安全面・衛生面に配慮する。	2	砂場で道具（カップや水など）を使って遊ぶ。	いろいろな種類の道具を準備する。	3	光るどろだんごを紹介し、自分で作ってみる。	児童の興味・関心を引き出すどろだんごを用意する。	4～7	①材料や作り方を追究する。 ②級友と相談して、いろいろな種類のどろだんごを作る。	何度も試したり、①と②を繰り返したりする十分な時間を確保する。
時間数	活動内容	指導のポイント、留意点																
1	砂場で遊ぶ。	安全面・衛生面に配慮する。																
2	砂場で道具（カップや水など）を使って遊ぶ。	いろいろな種類の道具を準備する。																
3	光るどろだんごを紹介し、自分で作ってみる。	児童の興味・関心を引き出すどろだんごを用意する。																
4～7	①材料や作り方を追究する。 ②級友と相談して、いろいろな種類のどろだんごを作る。	何度も試したり、①と②を繰り返したりする十分な時間を確保する。																
4 評価																		
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度															
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○															

- （注）・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
 ・A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになる時は両面印刷とする）。
 ・字の大きさは、10.5ポイント。
 ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

4 問い合わせ先

担当 子ども支援課発達支援グループ（齊藤）
 電話 0561-38-9517（ダイヤルイン）